

令和8年 業種別労働災害発生状況

(令和8年1月1日～3月31日現在)

函館労働基準監督署

区分 業種別	令和8年3月末			令和7年3月末			対前年		業種・割合 (%)	令和7年(確定)		
	死亡	休業4日以上	計	死亡	休業4日以上	計	増減数	増減率 (%)		死亡	休業4日以上	計
全産業合計	1	141 (4)	142 (4)	5	153 (1)	158 (1)	-16	-10.1	100.0	7	628 (14)	635 (14)
除く鉱業計	1	141 (4)	142 (4)	5	153 (1)	158 (1)	-16	-10.1	100.0	7	628 (14)	635 (14)
製造業		25	25	1	23	24	1	4.2	17.6	1	109	110
内 訳	水産食料品	8	8		6	6	2	33.3	5.6		41	41
	他の食料品	4	4		5	5	-1	-20.0	2.8		23	23
	木材木製品・家具	5	5		4	4	1	25.0	3.5		9	9
	窯業土石製品				1	1	-1	-100.0			3	3
	金属・機械	3	3		2	2	1	50.0	2.1		13	13
	輸送用機械等	1	1	1	1	2	-1	-50.0	0.7	1	9	10
	その他	4	4		4	4			2.8		11	11
鉱業												
土石採取業											1	1
建設業		16	16		13	13	3	23.1	11.3	1	75 (1)	76 (1)
内 訳	土木工事業	7	7		8	8	-1	-12.5	4.9		39 (1)	39 (1)
	建築工事業	5	5		1	1	4	400.0	3.5	1	17	18
	木造建築業	2	2		3	3	-1	-33.3	1.4		13	13
	その他の建設業	2	2		1	1	1	100.0	1.4		6	6
道路貨物運送業		11	11		9	9	2	22.2	7.7		48 (4)	48 (4)
その他の運輸		4	4		7	7	-3	-42.9	2.8		15 (1)	15 (1)
陸上貨物取扱業											1	1
港湾運送業											1	1
林業		1	1	3	2	5	-4	-80.0	0.7	3	10	13
水産業	1	1	2				2		1.4		9	9
卸売・小売業		18	18		18	18			12.7	1	79 (2)	80 (2)
清掃業		10	10	1	8	9	1	11.1	7.0	1	28	29
その他の事業		55 (4)	55 (4)		73 (1)	73 (1)	-18	-24.7	38.7		252 (6)	252 (6)
内 訳	保健衛生業	42	42		54 (1)	54 (1)	-12	-22.2	29.6		163	163
	接客娯楽業	1	1		8	8	-7	-87.5	0.7		40	40
	その他	12 (4)	12 (4)		11 (1)	11 (1)	1	9.1	8.5		49 (6)	49 (6)
今月のコメント	<p>1 労働災害の状況(令和8年発生分) 全産業の労働災害は142件で、前年の同時期に比べ40件程度増加しています。事故の型別では、転倒が48件、その他28件、墜落・転落が21件であり、その他の全数が新型コロナウイルスによるものでした。</p> <p>2 令和8年3月受付分について 業種別では多い順に、保健衛生業が15件、製造業が10件でした。</p> <p>3 コメント 北海道労働局、各労働基準監督署では、「建設工事着工期労働災害防止運動(令和8年4月1日から6月30日まで)」を展開しており、加えて5月25日から5月31日までを「建設安全週間」と定めています。 工事現場が動き出す時期に、建設業における3大労働災害防止に併せ、安全衛生管理体制の再確認や安全意識の定着を図りましょう。</p>											

※月

※ 函館労働基準監督署の管轄は、渡島管内と檜山管内です。

令和8年 死亡労働災害発生状況

函館労働基準監督署

No.	発 生 月	時 刻	業種	事故 の型	起因物	災 害 発 生 概 況
1	1	11 時 台	水産業	おぼれ	水	被災者を含め4人が乗船した漁船が漁港近くでヒラメの底建網漁を行っていたが、被災者等と連絡が取れなくなったため、捜索したところ、海岸沿いの消波ブロック付近に被災者が倒れているのが発見され、その場で死亡が確認された。（被災者以外の3人は労働者ではない者。）

※本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。